

四小だより

令和5年6月5日 No6号



いちよう

山形市立第四小学校
校長 村上 ゆかり
＜児童数 186名＞

〒990-0055 山形市相生町4番37号 TEL 623-6019 FAX 633-9321

令和5年度 第1回学校運営協議会が開催されました。

5月31日（水）に 今年度、第1回目の学校運営協議会が開催され、委員の皆様には山形市教育委員会より委嘱状が渡されました。委員の皆様は次の通りです。

番号	お 名 前	学校や地域での役職等
1	矢 野 秀 弥	同窓会 会長（本会 会長）
2	遠 藤 哲 也	奨学会 会長
3	水 上 進	奨学会 顧問代表
4	草 壁 利 則	第四地区町内会連合会 会長
5	調 所 伸 一	第四地区体育振興会 会長
6	柴 田 一 夫	第四地区青少年健全育成連絡協議会 会長
7	石 澤 章 光	第四地区民生委員児童委員協議会 会長
8	中 嶋 ち 糸 子	第四地区主任児童委員
9	菊 野 政 治	第四学区子供会育成連合会 会長
10	酒 井 智 子	地域学校協働活動推進員

（敬称を省略させていただいております。）

副会長に遠藤奨学会会長が選出され、今年度の学校運営方針とともに、今年度の重点である2点についても説明させていただきました。

- ① 特別支援教育を全ての教育活動の基盤とする（1年生の個別面談の実施等）
- ② 危機管理面の一層の強化（ネームタグの配付・いちよう見守り隊の活動開始）

さらに、連絡児童を通しておたより等を地域の皆様に配付していることについての現状と課題についてお知らせし、委員の皆様からご意見を頂戴しました。現在、学校では学年だよりを初めとするおたよりやご案内等について、デジタル化を検討しています。その際家庭への連絡については、児童のタブレットを通してお知らせすることができますが、地域の皆様には HP の閲覧やメールシステムへの登録が必要となります。丁寧な周知や手順が必要である中で、機を待たずしてすぐに移行できる文書があることについてもご意見を頂戴し、推進に向けて貴重な機会となりました。

今年度、HP にて行事のみならず、日々の学年の活動の様子などをお知らせしていますどうぞご覧ください。

明日は、6年生の陸上記録会が予定されています。選手が自分の記録に挑戦することはもちろん、全校生が心をつなげて、朝会でエールを送る予定です。

☆資源回収へのご協力ありがとうございました。

前日の雨の影響が心配されましたが、皆様のご協力により無事に終了することができました。ありがとうございました。

＊ 6月の校長講話より

6月になって、暑い日も多くなってきました。この頃は、1日の中でも気温の差が大きいので、洋服を脱いだり着たりします。みなさんの体温は、だいたい36度から37度くらいだと思います。人間はまわりに合わせて体温を変えることはできず、ずっと同じ体温なので、身に着けるもので調節することが大切なのです。

さて、今日はその衣服に関係するお話をしたいと思います。まずは、スライドをみてください。素敵なドレスですね。このドレスには、ある生き物が関係しています。

これは、クモの糸をヒントに、人工的に作られた糸からできているのです。次のウェアもそうです。世界で初めて、人口のクモの糸から発展してつくられた「ブリュード・プロテイン」を原料にした織物を100パーセント使用しているそうです。このウェアのすごさは、作り方にもあります。今、私たちが毎日来ている洋服の多くには、石油が使われています。地球上の石油には限りがあること、燃やすと二酸化炭素を発生して、地球温暖化の原因になっていることは、皆さんも聞いたことがあると思います。この「ブリュード・プロテイン」は「プロテイン」という名前の通り、地球上にたくさん存在するタンパク質を組み合わせ、発酵させてつくるために、ずっと環境への負荷が少ないのです。未来につながる繊維なのです。



今、私たちの身近にいる生き物や植物の特徴から、他にもいろいろなものが生まれています。この生き物を知っていますか？（スライドを見て、何名か挙手、しかも正解！）

これは、ニホンヤモリです。ちょっと、気持ち悪いと思う人もいるかもしれませんが、人間にかみついたり、毒を出したりしません。昔の人は家を守る縁起物として大切にしている風習もあり、特に白いヤモリは金運や繁栄、幸運をもたらす存在とされているそうです。このヤモリは、この写真のようにガラスなどにも垂直にはりついて行動できるのです。それは、足に秘密があります。タコのように吸盤があるのではなく、趾下薄板（しかはくばん）と呼ばれる細かなヒダがあるのがわかんと思います。このヒダの一本一本にはさらに約650万本ものナノメートルサイズの細かな毛が生えていて、この目に見えないほど細かい毛と、ガラスなどにある目に見えないくらい細かな凹凸がくっついているのだそうです。これを使って、作られたのがこの手袋です。私たちの手は、つるつるしているようですが、指紋をはじめ、たくさんのでこぼこがあります。だから、ものをつまんだり、握ったりできるのです。でも、年をとってしまったり、病気で、このでこぼこがなくなってくると、うまくものをつかめなかったり、とれなくなるのです。このヤモリの指からヒントを得て、この手袋がつくられました。この手袋は、危険な場所にのぼるときなどにも使われているそうです。

これは何の花でしょう？そう、ハスの花です。こんな風に池に根をはり、水面に葉や花をうかべています。ハスが生えている池に入ると、どろどろになっ



ってしまいます。手足に泥がくっつき、はねると洋服や顔にもくっついて、洗ってもなかなかきれいに取れないのです。ところが、ハスの葉はいつもきれいです。泥水をかぶっても、泥がべっとりつくことはありません。それは、ハスの葉に、ものすごくたくさんのでこぼこがあるからなのです。この水をはじく効果は、壁や屋根の塗料（色をぬるもの）にも使われていて、塗っておくと、雨があたったり水をかけたりするだけで、汚れが落ちるのです。みなさんの身近なものでは、ヨーグルトのカップのふたにも使われているそうです。ふたの裏には、あまりヨーグルトがつかませんよね。

私たちのまわりには、不思議なことやおもしろいことがたくさんあります。そして、そこから生活に役立ったり、未来を変えるものが生まれています。実は、大人よりもみなさん小学生の方が、「ふしぎだな」と思う力があるのだそうです。ぜひ、見て、聞いてたくさんのふしぎを見つけてください。